

旭川北・1～2年生での取り組み～目標設定、計画、評価、授業での活動

旭川北高等学校 都筑宏海、石田真奈実

本日の流れ

- (1)旭川北高の英語授業で今まで大事にしてきたこと(概要)
- ①親和関係を作る ②授業内の活動 ③その他

(2)課題(今回の発表内容)

- ①評価(指導と評価の一体化・観点別評価)、テストの見直しと整理
- ②while-reading / post-reading activity の見直し(評価方法、教員間での共通理解)
- ③外部試験が導入されると、本当に「即興」で「論理的」に「書ける」「話せる」のか？

(3)具体的な取り組み

- ①年度初めの目標設定・学習計画 →Can-do リスト作成、年間計画
- ②観点別評価(具体的に1年間でやってきた評価方法の紹介・これからの課題)
  - ・関心・意欲・態度(ジャーナル・Exam Report)
  - ・表現(post-reading activity、パフォーマンステスト)
  - ・理解(各種テスト、rapid-reading、授業中の活動)
  - ・知識・理解(単語の小テスト、各種テスト)

③表現活動の例

- 1)スピーキングテスト1(1年7月実施。指導内容の定着度と即興性を試すテストの例。対話形式)
- 2)スピーキングテスト2(2年7月と1月に実施。トピックに関して意見と理由を1分間話し続ける力。GTECのPart4のイメージ)
- 3)英表のウォームアップ(スピーキング)活動の例
- 4)その他(rapid writing、リテル、パラグラフライティングの紹介)

(4)分析

- ①授業アンケート結果から(生徒が授業での活動をどう捉え、どう成長したと感じているか)
- ②外部試験(進研模試・GTEC3技能+S)結果

(5)これからの課題・大切な考え方

補足資料

①	2017年度入学生 Can-do リスト
②③	2018年度1年生&2年生 年間学習計画
④	Journal Writing の例(A:教科書の内容に関してさらに調べたこと B:学習内容に関する自分なりの意見や考え C:ペアと話したこと、共有したり学びあったこと)
⑤⑥	スピーキングテスト1で使ったハンドアウト(1年7月実施。対話形式)
⑦⑧	スピーキングテスト2で使ったハンドアウト(2年7月と1月実施。個別)
⑨	英表の warm-up activity(speaking)のトピック例
⑩⑪	リテルの指導例
⑫⑬	パラグラフライティングの指導例
⑭	授業アンケート結果

北海道旭川北高等学校 2017年度入学生 Can-do リスト

	Writing	Speaking	Reading	Listening
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時事問題や社会問題（環境・労働・国際）について、自分の意見とその理由を、具体例や説明を用いて、100語以上で論理的に書くことができる。</li> <li>・絵を見て、登場人物の背景やその後起こり得るだろうことを踏まえながら、ストーリーを創造し、100語程度書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背景知識のある時事問題や社会問題について、自分の意見とその理由を、即興で述べるができる。</li> <li>・背景知識のある時事問題や社会問題について、相手と英語でやり取りを続けることができる。</li> <li>・時事問題や社会問題に関して読んだり聞いたり学んだことの概要を、自分の言葉で相手に英語で伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な話題の英文を読み、概要を理解することができる。</li> <li>・文章全体での各段落の要点や役割を意識して、読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長めの対話文や説明文、討論等を聞き、概要や要点を理解することができる。</li> <li>・英語でのやり取りで、相手の意見とその理由の要点をまとめながら的確に聞き取ることができる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活での身近な社会問題（ケータイ・学校規則）について、自分の意見や提案とその理由を、具体例・説明・比較を用いて80～100語程度で書くことができる。</li> <li>・物語や長文を読み、心情や背景を想像して、要約文や感想文を書くことができる。</li> <li>・ある程度登場人物やストーリーの背景・設定がある上で、絵を見て、ストーリーを創造し、80語程度で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活での身近な社会問題について、自分の意見とその理由を即興で述べることができる。</li> <li>・日常生活での身近な社会問題について、相手と英語でやり取りを続けることができる。</li> <li>・キーワードや絵の情報を言いながら、読んだり聞いたり学んだことの概要を、自分の言葉で相手に英語で伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの段落の要点や段落内のディスコーンマーカーを意識して、教科書レベルの英文を読むことができる。</li> <li>・教科書を読み、内容や心情を理解した上で、音読をすることができる。</li> <li>・未知語の意味を推測しながら読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面での対話文や説明文を聞き、概要や要点を理解することができる。</li> <li>・英語でのやり取りで、相手の意見とその理由を的確に聞き取ることができる。</li> </ul>
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な話題や日常生活、自分の興味・関心のあること（自分のこと・家族・学校生活）について、60～80語程度で書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な話題や日常生活、自分の興味・関心のあることについて、即興で述べることができる。</li> <li>・身近な話題や日常生活、自分の興味・関心のあることについて、相手と英語でやり取りを続けることができる。</li> <li>・質問に対して、聞かれたことだけでなく、具体例や理由など、補足を加えて返答することができる。</li> <li>・キーワードや絵の情報を言いながら、読んだり聞いたり学んだことの概要を相手に英語で伝えることができる。</li> <li>・発音、リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書レベルの英文を読み、要点を理解することができる。</li> <li>・教科書を読み、内容や心情を理解した上で、音読をすることができる。</li> <li>・背景知識のある英文で、未知語の意味を推測しながら読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や身近な話題についての対話文や説明文を聞き、理解することができる。</li> <li>・教科書やその他の英文を聞いて、5W1H（いつ・どこで・誰が・何を・どうした）等の要点を理解することができる。</li> <li>・英語でのやり取りで、相手の質問を的確に聞き取ることができる。</li> </ul>

平成30年度 旭川北高 英語科(第1学年)計画

目標:①基本的な知識や技術の習得 ②課題解決のための思考力、判断力、表現力の習得 ③自ら学び続ける意欲を持つ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
試験	校内試験	歓迎	GW明け	前期中間		夏明け	前期期末	秋テスト	後期中間		冬明け	学年末	
	外部試験			英検① 進研模試①			GTEC①	英検②	進研模試②		進研模試③ 英検③ TOEIC	GTEC②	
授業時数		8	12	12	6	4	12	16	12	12	8	10	6
授業 コミュ英 I	FIT	オリエンテーション Lesson1(W/音読)	Lesson2 (W/音読)	Lesson4(S)		Lesson5(W)	Lesson6 (S)		Lesson8 (retell)		Lesson9 (W/音読)		Final Presentation
	Essential Reading				Chapter1 (S/W)			Chapter2 (S)		Chapter3 (W)		Chapter5 (S)	
	評価	①評価は試験、授業内の活動、パフォーマンステスト、ジャーナルライティング、単語小テスト、課題提出などから1. 関心意欲態度 2. 表現の能力 3. 理解の能力 4. 知識理解の4つの観点で総合的に行う ②前期中間・前期期末・後期中間・後期期末→Fit, Essential、週末課題の長文、表現問題、初見の英文読解問題などから中心に出題 ③考査間テスト・休み明けテスト→DataBase、Vision Quest(文法・構文)などから中心に出題 ④各レッスン終了後には、Production Activity(スピーキング、ライティング)を行い、それら进行评估をする											
授業時数		4	6	8	4	2	6	8	6	6	4	6	4
授業 英表	Atlantis Take It Easy	Orientation Unit 1	UNIT2	UNIT4	Review Interview Test	Writing activity (Summer Vacation)	UNIT3 UNIT8	UNIT5 Skit UNI6	UNIT7	UNIT10	UNIT12	UNIT12 (Presentation)	Interview Test
	評価	①評価は試験(各考査、休み明けテストなど)、授業内の活動、パフォーマンステスト(エッセイなどのライティング、インタビュー、スキットなど)から総合的に行う。 ②JETの単独授業とALTとのT.T.の組み合わせで実施。 ③英語表現の考査には、授業内容の他、リスニング、週末課題の文法・英作文部分も含まれる											
講習	長期休業				夏期講習					冬期講習			春期講習
	土曜講習	参考書(厚い本)で予習 → Vision Quest English Grammarに事前に取り組む → 講習 → 復習 → Workbookでさらに演習・既習事項の確認のサイクルを大切に											
家庭学習	授業の予習	北高では授業の予習はしないこと。その分、復習に時間をまわし、学習の定着を図る工夫をする。											
	復習	その日の授業で学んだことの復習を大切に。具体的には、教科書(既習事項)や週末課題の長文の音読練習(CDを使う)、授業プリントの復習、本文の内容や「言い換え表現」の復習、ジャーナルライティング、土曜講習や週末課題の復習など。											
	DataBase	小テストは毎週行う(後日予定表配布)他、考査間テストと休み明けテスト(計4回)の範囲に入れる。											
	週末課題	指定された範囲を、指定された日までに各自で行う。提出後、解答解説をもらい、各自で復習する。提出期限を厳守すること。											
外部試験の積極的活用		・英検(希望者) 6・10・1月の年3回 2次面接練習他 ・GTEC(全員受験) 9月筆記のみ、2月は筆記+Speaking Testも実施。 ・TOEIC(L/R)のIPテスト(希望者)年1回1月頃 ..... 詳細は英語科通信で!											

2

平成30年度 旭川北高 英語科(第2学年)計画

目標:①基本的な知識や技術の習得 ②課題解決のための思考力、判断力、表現力の習得 ③自ら学び続ける意欲を持つ・学習習慣の確立

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
試験	校内考査	春明け	GW明け	前期中間		夏明け	前期期末	秋テスト	後期中間		冬明け	学年末	
	外部試験			英検① 進研模試①		学研ハイレベル		英検②	進研模試②	GTEC (R/L/W)	進研模試③ 英検③ チャレンジセンター TOEIC	GTEC(S) 記述模試	マーク模試
授業時数(3単位)		8	10	10	4	3	7	10	10	10	5	10	5
授業 コミュ英Ⅱ	Discovery(D) Essential Reading(ER)	D:Lesson1 (L/W)	ER: Unit6 (Jigsaw/S) ※音読	D:Lesson4 (Q&A/ Retell)	D:Lesson5 (要約/S)	ER:Unit9 (Q&A/S)	D:Lesson6 (L)	D:Lesson7 (Q&A/S)	D:Lesson8 (要約/W)	D:Lesson9 (L/Retell)	ER:Unit12 (Q&A/S)	D:Lesson10 (要約)	presentation
	評価	①評価は試験(各考査、休み明けテストなど)、授業内の活動、パフォーマンステスト(音読テスト含む)、ジャーナルライティング、小テスト(ワードマイスター)、post activity、課題提出などから総合的に観点別評価を行う ②前期中間・前期期末・後期中間・後期期末→Discovery、Essential Reading、週末課題の長文、サブリ・表現問題、初見の英文読解問題などから中心に出題 ③考査間テスト・休み明けテスト→ワードマイスター、Vintage(文法・構文・英作文)から中心に出題。											
授業時数(2単位)		4	6	4	4	2	6	4	6	6	4	6	4
授業 英表Ⅱ	New Favorite	絵の描写 (間接話法)	制服 (agree/disagree) (mini debate)	行きたい都市 (compare)	(compare) (speaking test)	北高の問題 (suggestion)	(suggestion)	後期の内容は後日提示する					
		否定・接続詞 (V,Q)	自動詞と他動詞	これ以降の内容は後日提示									
	評価	①評価は試験(各考査、休み明けテストなど)、授業内の活動、パフォーマンステスト(エッセイなどのライティング、インタビュー、スキットなど)から観点別で総合的に行う。 ②英語表現の考査には、授業内容の他、リスニング、週末課題の文法・英作文、熟語なども含まれる											
講習	長期休業				夏期講習					冬期講習	勉強合宿		春期講習
	土曜講習	今までの技術や知識を使い、2年生からは長文読解問題や模試の問題を使い、英語力(読解力)向上を図る。予習や復習を忘れずに。											
家庭学習	授業の予習	北高では授業の予習はしないこと。その分、復習に時間をまわし、学習内容の定着を図る工夫をする。											
	復習	教科書(既習事項)や週末課題の長文の音読練習(CDを使う)、サブリや本文の「言い換え表現」の復習、ジャーナルライティング、土曜講習や週末課題の復習など。											
	ワードマイスター	小テストは毎週行う(後日予定表配布)他、考査間テストと休み明けテスト(計4回)の範囲に入れる。											
	週末課題	UNITE3の指定された範囲を、指定された日までに各自で行う。解答解説を読み、まるつけをしてから提出する。											
外部試験の積極的活用		①英検は「2級を1月までに」を目標に。②GTECの3技能(L/R/W)は12月に、スピーキングは1月に実施予定。どちらもAdvancedタイプで、満点は4技能とも320点(合計1280点)。昨年度よりもスコアが伸びていることを期待! ③学校で受験するTOEICやGTEC for Studentsは大学入試の際に公式のスコアとして使えない場合が多い。そのため、公式のスコアとして使える公開テストを自分で受けに行く必要がある。GTEC、TOEIC、TEAPなどの受験が必要な人は各自でHP等で調べ、早めの準備を進めておくこと。受験日も決まっており、結果が出るまでに時間がかかる。また、これらはCBT(Computer-Based Test)なので、パソコン操作に慣れておくことも必要。											
朝トレ・昼トレ		詳細は後日連絡。文法、入試、リスニング対策などをする予定。											

(3)

June Thursday 29th



Today we researched extinct species and endangered species.

I will show you the impressive creatures that I found.

First, it's Stellar Kaigyu.

They were extinct in just 27 years after being found by humans.

Second, it's Affiliation (Otsunoshika)

They were extinct about 10,000 years ago.

I got sad when I saw the extinct animals because many animals were extinct by humans.

I'm hoping that all animals will not disappear from the earth.

A

June 27th, Tuesday ☁

Today, we thought about how to communication human and gorillas. We knew that human has a lot of way to communication such as speaking, SNS, and sign language. However, way to communication of gorilla was few. I think that way to communication by human is larger than gorilla.

I learned that gorillas is not scary and dangerous. So, I think than we mustn't judge personality to look only appearance.

Tuesday, June 27th

We read and speak sentences about gorilla. There is a little word that I don't know. However, I could read it when the class finished. I was very happy!! I want to read it better next time.

We thought about how to communicate. I thought that speaking is the best way of all, but I changed my idea. People who cannot listen or speak are difficult to communicate by talking about words. So writing letters and sign language are as important as speaking. I think it was good for me to notice that thing.

Asami had a different idea. However, she didn't say it. She said "I think that kiss is most important communication". I wondered she is very funny!

## Speaking Test

- This test is about your speaking skills from **Units 1, 2, and 3** of *Take It Easy!*
- You will take the test in pairs.
- You and your partner will have a conversation for **1 minute and 30 seconds** without stopping!

## Conversation Topics

<p><b>Junior high school</b></p> <p>Ⓐ use to~?</p> <p>Ⓑ What did you ~?</p>
---

*Example:*

Your pair will get a card like this.

- You and your partner should talk about this topic.
- Each student must make a question using Ⓐ or Ⓑ.
- You should make other questions, too!

## Grading

## 1. Speaking Techniques - 3 points

- The best conversations are smooth and natural. Both partners should ask questions and have good reactions. It is not an interview!
- You must have “Showing Interest” (pg 9), “Responding to News” (pg 15), and “Follow-Up Questions” (pp 9 & 15).
- Try to use “Meeting and Greeting People” (pg 2) and “Hesitating” (pg 3), too.

**10 points**

## 2. Questions - 2 points

- Make a question using Ⓐ or Ⓑ from the card!
- If you ask more original question, you'll get high point!

## 3. Grammar - 3 points

- Use correct grammar. Present Tense and Past Tense are the most important!
- Study: “Present Tense Questions and Answers” (pg 4), “Past Tense Questions and Answers” (pg 8), “Talking About the Past” (pg 10), “Expressing Frequency” (pg 14) and “Using How...? Questions” (pg 16).

## 4. Communication Skills - 2 points

- You need to use eye contact, a loud and clear voice, and good pronunciation.  
(No katakana English!) You need to cooperate with your partner!

※ **You will lose 1 point for each 10 seconds of silence!**

10 seconds of silence= - 1

20 seconds of silence= - 2

...and so on

<p><b>【Speaking Techniques】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Showing Interest / Responding to News</li> <li>➢ Hesitating</li> <li>➢ Greetings</li> </ul>	<p>0 – No response to the partner's words  1 – A little response  2 – Some inappropriate or unnatural responses  3 – Smooth conversation with appropriate responses</p>
<p><b>【Questions】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Make questions using the phrase on the topic card.</li> <li>➢ Follow-Up Questions</li> </ul>	<p>0 – Does not make questions with phrases from the topic card  1 – Makes one question  2 – Makes one question and more questions (1 is on a card, and more is free question)</p>
<p><b>【Grammar】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Correct grammar, especially using <u>past</u> or <u>present</u> tense</li> </ul>	<p>1 – Many mistakes; it's difficult to understand the meaning  2 – Some mistakes, but the meaning is clear  3 – Correct, or with a few small mistakes</p>
<p><b>【Communication Skills】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Eye contact</li> <li>➢ Loud voice</li> <li>➢ Good pronunciation (no katakana English!)</li> <li>➢ Cooperate with your partner</li> </ul>	<p>0 – Negative attitude, or only uses 1 skill  1 – Uses 2 or 3 skills well  2 – Uses all skills well</p>

※For each 10 seconds of silence, subtract 1 point from the total score.

EX: 10 seconds of silence, –1 point ... 20 seconds of silence, – 2 points... etc.

<b>【Speaking Techniques】</b>	0	1	2	3
<b>【Questions】</b>	0	1	2	
<b>【Grammar】</b>		1	2	3
<b>【Communication Skills】</b>	0	1	2	
<b>Total Score</b>				<b>/ 10</b>
(Silence: _____ seconds)				

Name: \_\_\_\_\_

Class: \_\_\_\_\_ # \_\_\_\_\_

6

## Speaking Test 2018

- This test is about your speaking skills
- You will take the test by yourself (record your performance in the Call room )
- You will express your opinion and reasons to the topic in **1 minute**
- You have **1 minute** to prepare

### Grading

17 points

- 1. Opinion - 2 points**
  - Express your opinion clearly.
- 2. Reason①② - 3 points × 2**
  - Explain the reasons to support your opinion logically. You need to tell 2 reasons to support your opinion.
- 3. Grammar - 3 points**
  - You need to use many kinds of expressions. If you use some difficult syntax, you can get high point.

EX) The internet allows us to connect with people all over the world. /The fear robbed him of speech.

- 4. Vocabulary - 3 points**
  - You need to use a wide variety of expressions. The more difficult words you use, the higher points you get. Be careful not to use same expressions. Try to use different words. You need to rephrase sentences.
- 5. Fluency / Pronunciation - 3 points**
  - You need to use a loud and clear voice, and good pronunciation. (No katakana English!) Also you need to speak fluently.

※ You will lose 17 point for silence!

### -Evaluation Sheet-

Opinion	0 - 1 - 2
Reason①	0 - 1 - 2 - 3
Reason②	0 - 1 - 2 - 3
Vocabulary	0 - 1 - 2 - 3
Grammar	0 - 1 - 2 - 3
Pronunciation / Fluency	0 - 1 - 2 - 3
Total	/ 17

Class \_\_\_ No. \_\_\_ Name \_\_\_\_\_



**-How to answer the question-**

Topic:

***Some people think it is better for high school students who study abroad to live in a dormitory than to live with a host family. What do you think about this?***

① I agree with this idea ② for two reasons ③ **First**, students who live in a dormitory have more opportunities to talk with other students and are likely to make more friends. ③ **Second**, students can get more information about school life by communicating with the other students living in the dormitory. ④ For these reasons, I think it's better for study-abroad students to live in a dormitory. (89)

Topic:

***Today, many people spend their vacations overseas. Do you think the number of these people will increase in the future?***

① I don't think so. ② I have two reasons. ③ **First**, it is difficult for many people to communicate with people in foreign languages. ③ **Second**, it is dangerous to travel abroad because the number of terrorist attacks has been increasing these days. ④ For these reasons, I think few people will enjoy their vacations overseas in the future. (60)

**-Points of this speaking test-**① **Opinion** → 自分の意見をはっきりと明確に伝える

聞かれていることに対しての自分の意見を述べること！

- I agree / disagree with ~
- I think this idea is good / I don't think this idea is good.
- I think so too. / I don't think so.

これらの表現を使って自分の立場を明らかにしよう。

② **How many reasons do you have?**

- 今回はスピーキングなので、聞き手によりわかりやすく伝わるように、付け加えよう！

③ **Reason1 and Reason2** → 理由は2つ！その二つは別々のことを言うこと！

- **First** or **Second** などのディスコースマーカーを使って、理由を述べよう。
- パーソナルなことにならないように、それから論点がずれないように気をつけましょう。

④ **Conclusion** → 自分の意見をもう一度述べる

- まとめとなるように心がける
- ただし、同じ表現は避け、違う言い方で表現しましょう！
- 時間を見て言えそうなら言う。※途中で中途半端に終わって意味が伝わらないのなら、言わないのもあり！

## 英表 warm-up activity について

本校では、英表(週2時間)あり、基本的には warm-up 活動(約10分)で開始します。speaking と writing があります。writing の日は rapid writing を行っています。例えば“Book” “Dream” “The person I respect”などのようにザックリとしたトピックを与え、それに関して5分間でひたすら(できるだけ多く)書く、という内容で、ライティングの fluency を高める活動です(文法などは気にせず、まずは量を重視)。終わったら語数を教え、wpm を出し、記録をつけます。目標は2年生で、5分間で100語(20 words / m)なので、1年生の終盤では 15~16 words / m くらいでしょうか。最後はペアでお互いの英文を読み、最低1つは質問するようにもさせています。

speaking ではトピックを与え、即興でそれに対する自分の意見と理由を答える練習を積み重ねます。英検準2級の No.4 や No.5、2級の No.3 や No.4 に出でくるようなトピックであり、答える際は、「意見 + 理由① + 理由②」「意見 + 理由 + 補足説明(具体例など)」のどちらかを使い、英検で求められるような答え方で答えるよう指導しています。

この2種類の warm-up 活動を導入しようと思った経緯は、安河地先生の講演に参加したことです。最も印象的だった言葉は、

・Fluency First, Accuracy Second. Accuracy First, Fluency Never!

・One More Word Spoken, One Step Forward!

でした。我々教員はもしかしたら少し真面目すぎるかも知れないとハッとさせられました。生徒の表現活動を全て評価するのは無理ですが、どうしても生徒同士の活動がしつかり行われているのか不安になり、避けてしまったりします。書かせたら添削や評価をしなければならいと避けることもあります。また、正確さを求めすぎること、fluency どころか表現しようとする生徒の意欲を奪うことになりかねません。さらに外部試験の重要性が増す中、スピーキングが評価される時代となります。求められるのは「即興性」「論理性」「流暢さ」です。教員側の好みや都合で生徒がスピーキングをする機会を与えられず、これらの力が伸ばせない授業は生徒にとって残念な授業であると実感させられました。

warm-up speaking で主に大切にしていることは主に次の3点です。1つ目は「定期的に行う」こと。2つ目は全体で適切なフィードバックを行うこと。全体で両方の意見とその理由を答えさせ、それぞれの立場や考え、出てきた考えを黒板にメモします。苦手な生徒は個人的な理由を答えてしまうこともあり、ある程度の修正も必要です。そして最後に学習記録です。やりっ放しでは力がつきません。しかし復習には記録が必要で、その日のトピック、そして黒板に書いてある key idea を1~2分で最後に書かせます。これらはテストに出題することもある、生徒は復習します。

トピックの内容(難易度)は Can-do に従い、1年生では personal なものを、徐々に social で難しいものを選びんでいます。

## warm-up speaking のトピックの例

1年生

① A lot of people enjoy taking pictures while traveling. Do you like taking pictures when you travel?

② Today, people use the internet in many ways. Do you often use the Internet?

③ There are public libraries in most cities and towns. Do you often visit a public library? など

2年生

① Today, some movies have a lot of violent scenes. Do you think people should stop making movies with violent scenes?

② Some people say that, in the future, more people will be able to work at home instead of going to the office. What do you think about that?

③ Today, many people buy things online. Do you think the number of these people will increase in the future? など

## retell の指導例

retell は完全に自由な、創造的な表現活動とは言えませんが、「学んだ内容を端的にまとめる力」「本文と違う表現を使って同じ内容を伝える力(言い換える力)」をつける目的で、本校では年間1~2のレッスンを選び、post-reading 活動の1つとして扱う計画を立てます。完全に自由で創造的ではないと書きましたが、ではどの内容をどう伝えれば端的に伝わるのか、またどの表現をどう言い換えるといいか、などと考えなければならぬため、結果的には思考力や想像力も問われる活動となります。

特に1年生は retell と recitation を混同しやすいため、本校では次のようなルールを最初に伝えます。

### ※Rules for retelling

- (1) You should use the key words given by the teacher. (You can change the form of the word if you want to.) ※品詞や形を変えるのはOK(例 excited→excitement / treat→treated)
2. You don't have to use the same words written in the textbook if the contents are the same. This activity is different from recitation (暗唱). Try to be creative!

本校ではキーワードを最初に与え、それを使って本文の内容をまとめるように考えさせます。全てを考えさせると時間がかかるだけではなく、生徒が不安になるからです。このサポートは学習段階で増減できると思います。また、あえて本文では使われていない単語を与えることで、言い換え表現をさせることもあります。さらに、絵や日本語、感情を表す記号や絵文字を使って単語や表現の定着度を図ったり、想像力を高める工夫をする場合もあります。

また、以下の4点で生徒の相互評価を行い、学び合いや刺激を与えるようにしています。教員がすべての生徒の retell を聞くことはませんが、テスト(観点別で言う表現)で出題することも考えます。

### ■ Share with your partner.

Your partner's name : \_\_\_\_\_

- ① Volume ( excellent / good / not good enough )
- ② Eye contact ( enough / not enough / none )
- ③ I could understand ( 100% / 80 % / 50% / less than 50%) of your story retelling.
- ④ I think your retelling is (very creative / creative / almost the same as the textbook).

retell はできるようにするにはかなり時間がかかりますが、諦めずに指導し続けると、生徒は徐々に慣れ、自信をつけるようになります。より高いレベルを目指そうとします。継続的で粘り強い指導が大切です。


## 例1 : Landmark Fit Lesson6(Biodiesel Adventure) Part2 の例

### ■ 本文

My first city was Vancouver, Canada. I asked for waste oil in many places. At first, my requests were often refused. That was because people did not know about biodiesel fuel. I was very disappointed. However, after people heard about my project, they started bringing me waste oil.

A month later, I left for the US. Many people helped me on my journey. Some people sent e-mails to their friends about my project. They were waiting for me with waste oil. In San Francisco, people even held a welcome party for me. I finally arrived in Washington, D.C. on April 19th. Then, I got on a ferry heading for Europe.

### ■ 与えたキーワード

- ① \_\_\_\_\_ Vancouver 
- ② At first, he ( T\_T ) because \_\_\_\_\_
- ③ しかし after people \_\_\_\_\_ his project, they \_\_\_\_\_ waste oil.



- ④ A month \_\_\_\_\_  
 ⑤ Many people \_\_\_\_\_  
 ↓ (⑥⑦で具体化)  
 ⑥ (具体例の合図), some people \_\_\_\_\_ project. ⑦ In San Francisco,



■ リテルの例

- ① He went to / His first place was Vancouver, (Canada). ② At first, he felt unhappy / disappointed because many people refused his offer / many people didn't know about biodiesel fuel.  
 ③ However, after people knew about his project, they were (became) happy to give him waste oil.  
 ④ A month later, he went to / visited / left for the US. ⑤ Many people helped / supported / welcomed him ⑥ For example, some people told their friends about / sent emails about his (Shusei's) project. ⑦ In San Francisco, people held (had) a welcome party for him / his welcome party was held

例2 : New Discovery II Lesson4(African-American First Lady) Part2 の例

■ 本文

In the 1980s, it seemed that things were somewhat better for black people, but prejudice against them still existed. In 1981, Michelle entered Princeton University, and she was assigned a white roommate, Catherine Donnelly. When Donnelly's mother learned that her daughter's roommate was a black student, she rushed into the student housing office and said, "Change my daughter's room right away!"

Michelle sensed this kind of feeling even from her white professors. Thus, in her senior thesis, she wrote:

*My experiences at Princeton have made me far more aware of my blackness than ever before. It often seems as if, to whites, I will always be black first and a student second.*

■ 与えたキーワード

- ① in the 1980s / 差別 (→ discrimination/segregation という単語は本文に出てきていないが、内容理解の際に言い換え表現として導入したので、prejudice ではなくあくえて discrimination を使わせるようにした)  
 ② Michelle / Donnelly  
 ③ Donnelly's mother / shocked  
 ④ the student housing office / change (間接語法で！)  
 ⑤ (thesis で書いたこと2つのうち、1つを言う) ・黒人であるということ(事実) ・first / second

■ リテルの例

① Discrimination against black people still existed in the 1980s./ Black people were still suffering from racial discrimination in the 1980s. ② Michelle shared a room with Donnelly when she was a university student. ③ Donnelly's mother was shocked because Michelle was a black student ④ So she asked(told) the student housing office to change her daughter's roommate. ⑤ According to Michelle's thesis, she realized that she was a black person more than before in her university life. / Michelle's thesis said that she felt she was always a black person first and a university student second.

## パラグラフライティング 指導例

本校では、1年生の7月頃にパラグラフライティング(60~80語)の指導をします。9月にGTEC、10月に英検があることを考えると、この時期に導入しておきたいと考えるからです。また、夏休みには、このパラグラフライティングの構成を使ったライティングの課題提出もさせ、前期期末テストの前段階として指導をします。

さらに2年生になったらエッセイライティング(80~100語、4段落構成)の書き方を導入し、さらに長く、質が高く、社会性のある内容を書けるように目指します。

ここにはパラグラフライティングの指導で使ったハンドアウトを紹介します。

## How to Write a Paragraph

A **paragraph** is a short answer to a topic, about 60~80 words or 6~8 sentences.

A paragraph needs:

1. **Topic Sentence** – Tell your idea about the topic completely.  
("I agree." or "I don't think so." are not complete!)
2. **1<sup>st</sup> Reason** – A strong reason for your idea.  
➤ *Support*
3. **2<sup>nd</sup> Reason** – Another reason for your idea. It should be very different from the 1<sup>st</sup> Reason!  
➤ *Support*
4. **Conclusion** – Tell the idea from your "Topic Sentence" again, but use different words.

※**Support:** Use 1~2 sentences for support. You should give more information about the reason and explain why the reason is important in your life or people's lives.

## Example Paragraph

(Can you find the "Topic Sentence", "1<sup>st</sup> Reason", "2<sup>nd</sup> Reason", "Support", and "Conclusion" sentences?  
Write the numbers of the sentences on the lines.)

**Topic:** Where do you want to travel? Write about one place and the reasons why you think so.

[1] I want to travel to Italy for two reasons. [2] **First**, Italian food is very delicious. [3] Italian food uses many vegetables, fish, pastas, and sauces, and the ingredients are very fresh. [4] I always enjoy eating it. [5] **Second**, Italy has rich history. [6] I'm interested in the Roman Empire and mythology about the Roman gods. [7] So, I think Italy would be a great place to learn more. [8] **Therefore**, I hope I can enjoy travelling to Italy someday. (74 words)

Topic Sentence: \_\_\_\_\_

1<sup>st</sup> Reason: \_\_\_\_\_

→ Support: \_\_\_\_\_

Discourse Markers

"First", "Second", and "Therefore" are discourse markers.  
Use discourse markers to show the parts of your paragraph. They make it easier to understand your idea.

## Let's Practice!

With your partner and the class, let's think about this topic.

**Topic:** What kind of sports do you want your child to do in the future? Write your idea and the reasons why you think so.

Topic Sentence: \_\_\_\_\_

1<sup>st</sup> Reason: First. \_\_\_\_\_

Support: \_\_\_\_\_

2<sup>nd</sup> Reason: Second. \_\_\_\_\_

Support: \_\_\_\_\_

Conclusion: In conclusion. \_\_\_\_\_

補足

topic sentence (抽象的な内容) と supporting sentence (例示・理由・補足説明など) の違いを伝えても、なかなか理解できない生徒がいるので、粘り強い指導が必要です。

最近の入試では和文英訳が減少傾向にあり、こういった自由英作文が増加傾向にあります。外部試験では当然自由英作文であることを考えると、パラグラフ(エッセイ)ライティングの指導の重要性は今後ますます高くなるでしょう。3年前はパラグラフライティングの導入を2年の春に行っていました。英検のライティング導入など昨今の事情を考え、遅すぎだと判断し、1年生の夏休み前に導入する決断をしました。

また、パラグラフ(エッセイ)ライティングの指導は、長文読解にも役立ちます。「このパラグラフでの主題文は何か(言いたいことはつまり何)?」「このパラグラフにおいてこの文はどんな役割を果たすのか」「パラグラフ同士の関係や役割は?」と考えるようになってきます。最近の読解問題の長文化傾向を考えると、1文1文の意味を考えようより、「パラグラフで言いたいこと(=主題文)を見つけてくれること」がより重要とされると考えているため、早く導入する意味はあると我々は考えています。

# 2017年度 1年生 英語授業アンケート結果

	合計	%
Q1 英語の授業は好き	41	16.5
まあまあ	148	59.4
あまり好きじゃない	52	20.9
嫌い	8	3.2

	合計	%
Q5 Writingに関して	49	19.9
とても上がった	118	48.0
結構上がった	77	31.3
少し上がった	2	0.8
上がっていない		

	合計	%
Q2 readingに関して	32	12.9
とても上がった	96	38.7
結構上がった	114	46.0
少し上がった	6	2.4
上がっていない		

役立ったもの(複数回答可)

★パラグラフライティング	175
★ジャーナル	89
ダイベート	29
サブリ	44
VQ	71
オンタン	41

役立ったもの(複数回答可)

音読	133
rapid reading	140
週末課題	102
英問英答	30
要約プリント	48
story retell	30
VQ	90
オンタン	112

Q6 英語以外に身についたもの

	合計
★思考力	115
想像力	27
★コミュニケーション能力	131
外国文化への理解	62
日本文化への理解	13

	合計	%
Q3 Listeningに関して	28	11.2
とても上がった	84	33.6
結構上がった	117	46.8
少し上がった	21	8.4
上がっていない		

	合計	%
Q7 rephraseに関して	89	42.2
★大変役立つ	99	46.9
★まあ役立つ	12	5.7
あまり必要無い	11	5.2
必要無い、嫌い		

役立ったもの(複数回答可)

教科書の英文を聞く	92
★先生の英語を聞く	136
★ペアワーク	63
ダイベート	46
story retell	16
週末課題	45
オンタン	37

	合計	%
Q8 open QIに関して	119	48.4
★大変役立つ	119	48.4
★まあ役立つ	7	2.8
あまり必要無い	1	0.4
必要無い、嫌い		

	合計	%
Q4 Speakingに関して	19	7.7
とても上がった	88	35.5
結構上がった	131	52.8
少し上がった	10	4.0
上がっていない		

役立ったもの(複数回答可)

★ペアワーク	177
★ダイベート	83
story retell	33
★プレゼン	77
音読	69
スキット	22
スピーキングテスト	52
オンタン	41